

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)KIO厚木デистриビューションセンター新築工事	階数	地上3F
建設地	厚木市下依知字中河原651番ほか15筆	構造	S造
用途地域	市街化調整地域	平均居住人員	150人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2022年9月26日
敷地面積	11,482㎡	作成者	株式会社 陣設計
建築面積	5,396㎡	確認日	2022年9月26日
延床面積	10,366㎡	確認者	株式会社 陣設計



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能
Q1 室内環境
Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー
LR2 資源・マテリアル
LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア= 0.0

音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.7

機能性 耐用性 対応性

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

生物環境 まちなみ 地域性

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.9

建物外皮の 自然エネ 設備システ 効率的

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

水資源 非再生材料の使用削減 汚染物質回避

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

地球温暖化への配慮 地域環境への配慮 周辺環境への配慮

3 設計上の配慮事項

総合	その他
海老名駅からバスで35分の市街化調整区域内に、事務所と工場の複合用途として、S造・3Fの建物を計画した。	-
Q1 室内環境	Q2 サービス性能
-	将来の用途変更などを考慮し、階高・壁長さ比率についてのゆとりをもった設計としている。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル
BPI _m =0.89, BEI _m =0.63, LED照明設備を導入している。	自動水栓に加えて、節水型便器を採用。
-	LR3 敷地外環境
-	燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率=81%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される